（昭和50年9月20日第三種郵便物認可）

交通安全はみんなの願い

市民インタビュー　考えよう交通安全

井出東一郎さん

交通安全推進協力員

最近の車の増加は、交通事故の多発を呼んでいるように思われます。私も交通安全協力委員を長年やってきていますが、なかなか一般の方々は交通安全に関心を持ってくれません。交通安全に関しては簡単なことであってもうっかりしているのか、軽くそいでいるのか、なかなか自分のこととしてうけとめられないのが現状のようです。それを警察側既させるのが私たちの役目だと思っています。私自身、一人一人と交通安全について根気よく話し合い警察させていきたいと思っていますが、市民のみなさんがこのような気持ちでいてほしい。

もっと道路の解放を

白山小三年　小山田淳くん

僕は、友だちと学校から帰ると直の通らない白山公園で遊んでいます。近所に公園のない仲間のため学校が終わるところから道路を公園として解放しているいろの遊びができるようにしてください。

交通事故は、車がなくなればなるほど起きないと思います。だから歩行者天国をいたる所でつくり土曜日、日曜日には車が道路を通ってはいけないことにすればいいと思います。

毎日の注意こそ大切

両川地区交通安全母の会　佐藤レイさん

最近の増加する交通事故を思うと事故のない安心して住める世の中を願うのは私一人ではないと思います。私の属する両川地区交通安全母の会でも、会員の独自性をもって交通事故の絶滅のためいろいろな活動を行なっています。

しかし、その基本は主婦の立場として家庭から事故を出さないように努めることです。

事故は起きてからでは遅いのです。毎日の注意こそ大切で、ゆるみがちな心を互に励ましあい事故をなくしていきたいのです。

五千人にアンケート

ご協力を　ノーカー・デーの意識調査

交通安全対策の一つとして、市ではノーカー・デーの実施を検討していますが、このほど市民の皆さんの考えはどうかを知るためアンケートを実施しました。アンケート用紙は四月の上旬に発送しますが、用紙が届いた方はぜひご協力ください。

なお、この調査内容に不明な点がありましたら市広聴課（市役所内線三三番）へお問い合わせください。

現在、ノーカー運動は全国で約二十カ所で行なっていますが、市でもこのアンケートの結果を中心に協議して、実施するかどうかを決めることになっています。

アンケート内容は通勤方法、運動そのもの賛否、実施した場合は協力するか否かなどです。

選挙人名簿から無作為抽出した市民五千人の方々を対象にアンケート調査をすることになりました。

アンケート指定日、その範囲、実施方法、運動そのもの賛否、実施に協力して、実施するかどうかを決めることになっています。

認識高まる　事故ゼロの日

毎月十五日は交通事故ゼロの日です。このゼロの日は昨年の十月、ふえ続ける交通事故を市民総ぐるみで防止しようと設けられたもので、たちに市民の中に浸透してきました。

その浸透してきた原因は、なにかもの言う一人一人が交通事故の悲惨さ、恐しさを知り、交通ルールをよく守ろうとするようになったからでしょう。

毎月十五日、このゼロの日の意義を深く考え、事故に会わないように、起こさないように交通ルールをよく守りたいものです。交通問題は、一人で解決できるものではありません。それは、交通ルールを守ることが解決の一歩なのです。

研修に熱はいる

毎日活動する　交通安全推進協力員

交通安全推進協力員の研修会がセ七十人の方がおられます。登下校時には子供たちの安全を願い、黄色い帽子に、腕章をつけて横断歩道などの危険な街角で交通指導する姿が見られます。

事故発生状況や交通安全について、熱心に聞きいる協力員

交通安全を考える

交通指導員として必要な交通教育

毎日の新聞紙上をにぎわしている交通事故は、日増しに増えるばかりで、交通指導員という名のもとに身の危険を直接感じながら朝夕街頭に立っている毎日です。これからの交通事情を考える時、私達指導員も「このままではいけない」と思いながら、そしてまた現在の交通事故を少しでも減少させようと、なんの報償のない一般人の奉仕者の人たちと一緒になり一生懸命にやっています。しかし、このような奉仕活動に期待している交通事故は、日増しに増えるばかりで、交通指導員という名のもとに身の危険を直接感じながら朝夕街頭に立っている毎日です。これからの交通事情を考える時、私達指導員も「このままではいけない」と思いながら、そしてまた現在の交通事故を少しでも減少させようと、なんの報償のない一般人の奉仕者の人たちと一緒になり一生懸命にやっています。しかし、そして最近になって交通警察の交通服装に立ち向かってゆくことができないと思うのです。このままの状態では三年、五年後の交通事情を考えるだけで身のすくむ思いがします。

必要性を感じ、保育園、幼稚園、小学校等でも、私たち指導員が、子どもたちと一緒に楽しみながら交通道徳を育てる交通教室を開いたりして少しづつ力を入れているのですが、心ない大人の交通マナーの悪さによって小さな子供たちの胸は、どんなに傷ついているのでしょう。この子供たちが一日も早く大人となって進展することはなくならないのが現状かと思うのです。やはり、警察官や交通巡視員の人たちの協力、また市民のみなさんの協力がなければ、この交通戦争に立ち向かってゆくことはできないと思うのです。

一日も早く安心できる日がくることを期待しながら、毎日毎日供たちの用心棒として活躍したいと思うのです。

交通災害共済

お早めに加入を

1日1円の掛け金で最高50万円の見舞い金がもらえる交通災害共済の47年度分の受け付けが始まっています。

この制度は、「不幸にも交通事故にあった人へ、会員相互の助け合いによって見舞い金を」と県下104の市町村が共同で行なっているもので、新潟市では、ご家族のみなさんそろってこの共済制度に加入されるようおすすめしています。

年々加入される方もふえており46年度は約7万人で、不幸にも事故にあい給付を受けた方は死亡9人をはじめ、416人（給付は1,554万円となっています。

継続される方も、新しく加入される方も、お早めにご加入ください。

☆加入資格

市内に住んでおられる方はどなたでも年齢に制限なく加入できます。

☆掛け金

1人年額350円です。（4月1日以降に加入する場合も同額）

☆共済期間

毎年4月1日から翌年3月31日までです。中途加入した人は、会費を納めた日の翌日から共済期間が始まります。

☆加入手続

加入申し込み書に掛け金を添えて自治会長・町内会長さんに申し込んでください。また市役所一階交通共済受け付け窓口、各地区事務所、連絡所、銀行でも受け付けます。

☆見舞い金

従来の見舞い金給付の内容が変わりました。詳しくは市交通課（☎28—1000番、内線448番）か各地区事務所、連絡所へどうぞ。

交通安全対策

47年度事業から

歩道新設は2キロ　道路照明は40灯

歩道の新設＝松浜町三百五十尺、笹出線百五十尺、沼垂日吉町（日本石油付近）百三十尺、関屋本村、松波町線（大切浜付近）三百五十尺、学校町線（念仏寺付近）二百五十尺、医学町線百八十尺、浜浦町線、百八十尺、中央通線百四十尺、川岸町線百五十尺。

歩道の舗装＝末広通、二百六十尺、文京町、信濃町六百尺、臨町百八十尺、西中町七十尺、信濃町三百四十尺。

横断地下道の新設＝川端町（越後線下）十六尺。

歩道橋の新設＝小針中学校（西川付近）二十七尺。

歩道橋融雪装置の設置は一面に掲載してあります。

安全施設の整備

◇　◇　◇

歩行者の安全を守る歩道橋が市内で4つも完成しました。これは46年度事業として各道路管理者で工事を進めていたもので、白山小学校前、東港線中央ふ頭地点、万代橋東詰め、旧116号線小新小前の4カ所です。

このほど、47年度の市の交通安全対策事業が決まりました。交通安全施設整備と啓蒙運動事業に分けてお知らせします。

47年度は、このような計画で交通安全に対処してゆきます。

啓蒙運動

◇　◇　◇

一層の強化を図り、お年寄り老人会や交通安全母の会等の組織づくりを行ない啓蒙活動をいっそう努める。

▼交通安全の積極的開催

保育園や幼稚園、小学校で開催

▼交通教室を積極的に開催

在実施している交通教室を計画的に実施し、常点検から市強化シグナル号を使用し、積極的に交通教室を開催する。

▼各種交通安全運動の強化

春、夏、秋、冬の交通安全運動や事故ゼロの日などの運動期間中、事故者を絶対出さないよう一層の啓蒙運動を展開する。

▼新入学児童六千四百三十人に黄色い帽子をプレゼント

初めての試みで、子供とする新入学児を守ろうというもの。

▼新入学児を対象に交通安全手帳二万二千冊をプレゼント。

交通教室を積極的に

新入学児に黄色い帽子を

昭和四十七年度の交通安全啓蒙運動は次の各項目を基本方針として、この一年間、活動していくことになりました。

年々増加の一途をたどる交通事故をなくすために、道路や他の施設の整備、改善の必要とともにまた一方では、事故の減少、根絶を市民に深く認識してもらう啓蒙運動の全面的な活動もいま急速に必要が迫まられています。

基本項目次のとおりです。

▼交通事故ゼロの日推進市民大会の開催

昨年十月、交通事故ゼロを願って設けられた交通事故ゼロの日をもとしての十月十日で満一年を迎えます。この日、事故者を絶滅のため、啓蒙運動を展開します。

▼事故分析の強化

交通事故の分析を行ない、統計を作成し交通安全対策の資料とする。

▼老人対策の強化

最近、老人の事故が注目されてきています。市では、この老人の事故を防止する対策のより

■笹口歩道橋（東と線笹口寄り）十五・三尺、鷗島二百尺、白山歩道橋十八尺、鷗島二百尺

道路照明の設置＝市内一円二百ワットの水銀灯四十灯。

ガードレールの設置＝市内一円二百尺。

区画線の設置＝市内一円八百尺。

道路標識の設置＝百十五本。

道路反射鏡の設置＝市内一円二十本。

なお、通関道路整備事業費は一円二百尺。